

# 中国民放クラブ・岡山大会 エクスカーションメモ(観光)

## 岡山城



岡山城天守はこの北側角度から見るのが一番美しいと言われています。東西南北それぞれ見る角度により姿を変える面白さがあります。不等辺五角形の一層の上に各層が整えられ最上階6層は正方形になるという独特の形とともに、戦国末期から江戸時代にかけての戦う城郭としての歴史を伝える岡山城は城愛好家たちも高く評価しています。松江城のように国宝ではありませんが、戦災後昭和41年に再建され、このほど令和の大改修を終えた天守では、地下1階から6階まで、岡山市出身の歴史学者磯田道史氏の監修による宇喜多氏から池田氏にかけての歴史に親しむことができます。



北から



北西下



南から



東から



西から

## 後楽園



岡山城の北に造営された大名庭園・日本三名園の一つに上げられる岡山後楽園です。

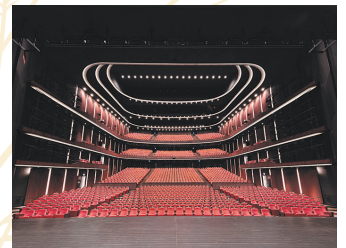
今回は先に後楽園を鑑賞していただきます。広い園内は、歩いていただくと池、山、林、茶畑と風景が変わり、四季折々の美しさを見せてくれます。日本三名園の中では最も早く完成しており、大量の芝生を使った日本最初の庭園とされています。



昼食は、岡山藩初代藩主、池田光政公ともかかわりがあったというお堀端の「ふや平」にて、岡山城を眺めながら味わっていただきます。



午後からは、文化芸術の新しい発信拠点「岡山芸術創造劇場ハレノワ」を訪れます。



## 吉備津神社



そのあと、日本遺産にも認定された「桃太郎伝説の生まれたまちおかやま」にちょっと触れていただきましょう。

岡山に残る吉備津彦命と鬼・温羅(うら)の戦いの伝説が昔ばなし「桃太郎」のモデルとなったとも言われています。

ももたろう=吉備津彦命を祭神とする吉備津神社まで足を運んでいただき、国宝の本殿に参拝し、しばし伝説の世界を楽しんでいただければ幸いです。

